

肺塞栓症患者・家族として

—肺塞栓症の予防を訴えて—

江原 幸一

私のプロフィール

- 8歳の娘の父
- 一級建築士・設計事務所を営む
- 多文化共生・防災のまちづくり、国産材普及等のボランティア活動
- 肺塞栓症・深部静脈血栓症友の会

→妻が最大の理解者

肺塞栓症の発症

- 妻の状況

2002年2月 37週で骨盤位、臍帯下垂のため2日後に帝王切開で出産

出産後翌日。担当医は帰宅後、
17:00頃トイレで妻が倒れる

1時間後に肺塞栓症と診断され、その後意識不明のまま

2002年4月9日妻が倒れてから53日後、心臓停止

肺塞栓症予防普及の活動

- 新聞・テレビの取材・専門誌の寄稿
- 東京都病院経営本部への申し入れ
- NHK「クローズアップ現代」番組制作依頼
- 埼玉県・厚生労働省・国会議員へ申し入れ
- ホームページ開設
- 厚生労働大臣への申し入れ
- 自治医科大学「医療安全対策講演会」講演
- 患者支援団体会議への参加

活動の成果

- 02.4.9毎日新聞夕刊
- 02.5.21テレビ東京のニュース
- 02.7.3「クローズアップ現代」放映
- 03.4.15読売新聞「医療ルネッサンス」
- (03.11.27『静脈血栓塞栓症予防ガイドライン』まとまる)
- 04.1.16肺塞栓症予防の保険適用決定
- 05.9.12自治医科大学講演
- 07.7.7第2回J-PALS患者支援団体会議
- 07.06抗凝固薬発売 患者側として講演

今後の医療側と患者側の連携について

- 医療崩壊回避のために患者側ができること
患者側による医療インフォメーション
- 医療側に見えない患者側の希望
グリーン・ケア・プログラム 宿泊できる待合個室
医療事故無過失補償制度
- 患者のためにできる医療・患者・製薬・行政の連携
ドラッグラグの解消
- 新しい患者支援体制
患者会の活動